

整理番号

--	--	--	--	--

(この欄は調査票の整理に使用しますので、何も記入しないようにお願いします。)

## 松戸市総合計画第3次実施計画づくりのための市民ニーズ調査

### ■■ アンケート調査ご協力のお願い ■■

皆さまには、日ごろより市政にご協力いただき、ありがとうございます。

松戸市では、平成10年に策定した総合計画に基づき、行政経営を進めております。現在、平成20年度から22年度までの3年間を計画期間とする第3次実施計画の策定準備を開始したところです。今後の計画づくりにあたっては、市民の皆さまのニーズに的確に対応するため、「あれもこれも」ではなく「あれかこれか」にしぼりこみ、「選択と集中」を明らかにすることが重要と考えています。そのため、広く皆さまの「松戸市のまちづくりの方向性」についてのお考えを聞くための調査を実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査を実施するにあたっては、平成18年6月30日現在の住民基本台帳から無作為に3,000人を抽出いたしました。アンケートの結果につきましては、調査の目的以外には使用いたしません。

平成18年8月 松戸市長 川井 敏久

### ■■ ご記入にあたって ■■

1. 質問には、必ず本人（封筒の宛名の方）がお答えください。
2. この調査にはお名前を記入する必要はありません。個人の秘密は厳守いたしますので、ふだんご自分が考えていること、または行っていることをお聞かせください。
3. 表紙の右上の整理欄に記入している数字は、お住まいの地区を表すもので、個人を特定するものではありません。
4. 回答は、質問により、1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがあります。あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
5. 質問の中には、選択した番号により、次の質問が問われるものがありますので、ご注意ください。
6. お答えが「その他」の場合には、( ) 内に内容を具体的にお書きください。
7. ご記入いただいた調査票は、**8月21日(月)までに**同封の返信用封筒（切手不要）に入れてご返送ください。
8. この調査に関するご質問、ご意見などがございましたら、下記までお問い合わせください。

### < 問い合わせ先 >

松戸市 総務企画本部 政策調整課

〒271-8588 松戸市根本387番地の5

電話：047-366-7072

FAX：047-366-1204

E-MAIL：mcseisaku@city.matsudo.chiba.jp

問1 松戸市は、水戸街道の宿場町として、また舟運交通の要衝として栄えてきました。市制を施行した昭和18年の人口は4万人程度であり、昭和30年代の半ばまでは農業主体のまちとして緩やかな人口の増加傾向をたどってきました。

その後、平成の初めまでは、首都東京の住宅需要の受け皿として、新しい市民が全国各地から移り住み、激しい人口移動と増加を繰り返してきました。今日では、人口の増加も落ち着き、人口約47万人を擁し、市内にJR、私鉄併せて23の駅を持つ**全国でも有数の生活都市**として成熟期を迎えつつあります。

このような松戸市において、あなたが生活する上で、どのような**まちづくり**を望みますか。  
(○は1つだけ)

1. 松戸駅を中心とした一帯に新たな投資を行い、自宅近くでの利便性の向上は望めないが、松戸駅周辺まで行けば、高級品の買い物、専門的な医療や特色ある教育まで大抵のサービスは受けられるような**一極集中型のまちづくり**
2. 市内の数箇所（たとえば、複数の路線が交差する松戸駅、新松戸駅、八柱駅など）を拠点として、新たな投資を行い、自宅近くでの利便性の向上は望めないが、市内のどこかで、高級品の買い物、専門的な医療や特色ある教育まで大抵のサービスは受けられるような**拠点分散型のまちづくり**
3. 東京への交通の便が良いという立地条件を生かし、高級品の買い物、専門的な医療機関や特色ある教育機関などは都心に行けば済むので、日用品の買い物や介護や育児などの日常生活に必要なサービスが、最寄り駅の近隣や通勤・通学経路などのなるべく自宅から近いところにおいて入手できるように**市内各所に分散して投資するまちづくり**

4. その他

(

)

問2 松戸市は、都心から約20kmの位置にあり、本市の西部は江戸川を境に、東京都葛飾区などと接しています。三鷹市や川崎市とほぼ同じ距離にあり、町田市や横浜市よりは、約10km、横須賀市よりは、約30km 都心に近い距離にあります。

首都圏における立地条件は大変良いわけですが、**松戸市に暮らすというブランドイメージ**として、どのようなまちのイメージづくりを望みますか。(○は1つだけ)

1. ITなどの最先端技術を極力利用し、東京のベッドタウンとして利便性をあくまで追求し、外出しなくても、情報や物が簡単に手に入る **ITコミュニケーション都市**
2. 市内にある4つの大学（千葉大園芸学部、日大歯学部、聖徳大学、流通経済大学）との連携を深め、**若者文化を発信していく学園都市**
3. 大手百貨店や高級ブランド店が並び、ショッピングなどが楽しめる**優雅で知的な感性を感じる都市**
4. 新たな開発よりも、自然や緑、歴史や文化など松戸がそもそも持っている良さを活かした**緑花清流都市**
5. 近隣に住んでいる人の顔がわかり、知らない人や子どもにも気軽に声かけられる**安全で安心な地域コミュニティ都市**

問3 平成17(2005)年は、出生数が死亡数を下回り、日本全体の人口が減少していく人口減少社会が想定より早く到来しました。これからの社会では、「**税や公的保険料を負担する人が少なくなるが、税などでまかなわれる市役所のサービスを必要とする人が増える**」ことが予想され、その結果、「一人一人が市役所から受けられるサービスが減る」ことが考えられます。

また、助け合いや支え合いができる地域社会が維持できなくなったり、経済活動を支える年齢層が希薄になり、平均的に生活水準が低下することも考えられます。

このような社会情勢の下での市役所など**行政サービスの提供のあり方**として、どのような方法が相応しいと考えますか。

なお、市役所などが行う行政サービスは、十分効率的に行われているものとしてお考えください。(〇は1つだけ)

- |  |
|--|
| 1. 高齢者などが増えることによりニーズが増えるのだから、市役所などが提供する <b>行政サービスは拡大</b> すべきであり、税や公的保険料の <b>市民負担は大きく増や</b> しても仕方がない  |
| 2. 市役所などが提供する <b>行政サービスは現状を維持</b> すべきであり、人口減少社会において労働人口は減るのだから、一人あたりの <b>市民負担がその分だけ増える</b> ことは仕方がない  |
| 3. 税や公的保険料の <b>市民負担は現状水準</b> を維持すべきであり、労働人口が減ることによる市役所などの減収は仕方がない。市役所などが提供する <b>行政サービスは減少</b> させ、減少分は、市民の助け合いや、別にお金を払って、NPO・企業などの提供するサービスを購入するにすればよい |
| 4. 市役所などが提供する <b>行政サービスは必要最低限</b> とし、税や公的保険料の <b>市民負担はできるだけ軽減</b> すべきである。必要最低限を超える部分は、市民の助け合いや、別にお金を払って、NPO・企業などの提供するサービスを購入するにすればよい                 |
| 5. その他 ( )   |

問4 1998年のNPO法(特定非営利活動促進法)の施行後、NPO法人は急増し、全国で19,000を超える団体が設立されています(2004年12月現在)。人口減少社会における市民の多様化するニーズに対応するためには、市役所などの行政がサービスを全てまかなうのではなく、市民の助け合いやNPOなどの活動によってニーズを充足させていくことが期待されています。

あなたは、普段の仕事や家事、育児のほかに、**町会などの地域活動やNPOなどのボランティア活動**に、どの程度、参加していますか。また、今後参加してみたいと考えていますか。

(〇は、現在・今後とも、アとイ、それぞれ1つずつ)

■現在

	よく参加している	参加したことがある	参加したことはない
(ア) 町会やPTA役員などの地域活動	1	2	3
(イ) NPOなどのボランティア活動	1	2	3

■今後

	ぜひ参加したい	条件が合えば参加したい	参加する予定はない
(ア) 町会やPTA役員などの地域活動	1	2	3
(イ) NPOなどのボランティア活動	1	2	3

問5 松戸市が今後も発展し続けていくためには、社会・経済環境などの様々な「環境の変化」に的確に対応し、市民の皆さまのニーズが増えているところに重点的に資源配分していくことが重要と考えられます。そこで、松戸市がこうなっているとよいと思われる状態を次のように整理しました。

あなたは、それぞれの項目について、現状をどのように評価し（現状評価）、今後取り組むことがどのくらい重要（今後の重要度）だとお考えですか。松戸市に税金を納める立場として、どのようなことに税金が使われるべきかという観点でお答えください。

項目ごとに現状評価と重要度について、あなたのお考えに一番近い番号を「1～4」の中から、それぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。

現状評価・重要度 それぞれ1つを選択  選 択 項 目		現状評価				今後の重要度			
		十分な状態である	まあまあ の状態である	やや不十分な 状態である	不十分な状態 である	重要である	まあ重要である	あまり重要ではない	重要ではない
(記入例) ○○○○○している		1	2	3	4	1	2	3	4
(ア)	市民と行政の協働のルールが確立されている	1	2	3	4	1	2	3	4
(イ)	一人ひとりの人権が尊重され、参画しやすい地域社会になっている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ウ)	自らの健康に関心を持ちながら行動できる市民が多数いる	1	2	3	4	1	2	3	4
(エ)	高齢者や障害を持つ人など生活支援が必要な市民が、地域の支え合いの中で自立した生活を送れるようになっている	1	2	3	4	1	2	3	4
(オ)	次の世代を担う子どもたちが、地域の支え合いの中で健やかに生まれ育っている	1	2	3	4	1	2	3	4
(カ)	地域の医療機関と役割分担し、市立病院が救命救急医療や小児医療などの充実を図っている	1	2	3	4	1	2	3	4
(キ)	家庭、地域、学校の連携により、子どもたちが将来の目標を持てるように、一人ひとりにあった学習環境が用意されている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ク)	生涯学習やスポーツが、手軽に始められるようになっている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ケ)	市内の身近なところで、松戸の歴史や文化が感じられるようになっている	1	2	3	4	1	2	3	4
(コ)	市民一人ひとりが、災害発生時における自らの役割を自覚し、被害の軽減や復旧に向けての行動がとれるようになっている	1	2	3	4	1	2	3	4
(サ)	地域社会の連携と協働により、火災等の災害による被害が軽減されている	1	2	3	4	1	2	3	4

現状評価・重要度 それぞれ1つを選択  選 択 項 目		現状評価				今後の重要度			
		十分な状態である	まあまあの状態である	やや不十分な状態である	不十分な状態である	重要である	まあ重要である	あまり重要ではない	重要ではない
(記入例) ○○○○○している		①	2	3	4	1	②	3	4
(シ)	より適切な救急救命処置ができるようになってきている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ス)	もったいない精神が浸透し、自分のできる範囲で、環境にやさしい取り組みをしている	1	2	3	4	1	2	3	4
(セ)	「自分のまちは自分たちで守る」という意識のもと、安全で快適なまちにするための助け合いをしている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ソ)	緑が保全され、身近な緑と花が増えている	1	2	3	4	1	2	3	4
(タ)	地域産業が活性化し、市内で働く人が増えている	1	2	3	4	1	2	3	4
(チ)	多様な職場が用意され、働きたい人が、働けるようになってきている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ツ)	安全でゆとりのある住宅に住んでいる人が多数いる	1	2	3	4	1	2	3	4
(テ)	公共交通機関と道路のバリアフリー化が進み、誰もが気軽に外出できる街並みが増えている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ト)	身近に水と触れあえるきれいな河川が増えている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ナ)	いつでも安心して水道水が使えるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
(ニ)	既存の都市基盤の維持管理や緑地や水辺など環境の保全が行われている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ヌ)	行政は市民ニーズを把握し、わかりやすい目標をたて、効率的でより良いサービスを提供している	1	2	3	4	1	2	3	4
(ネ)	中・長期的な展望に立った健全財政が維持されている	1	2	3	4	1	2	3	4

以上の項目のほか、追加すべき「松戸市がこうなっているとよいと思われる状態」があれば、以下の追加記入欄に直接記入し、同じように番号に○印をつけてください。

選 択 項 目		現状評価				今後の重要度				
		十分な状態である	まあまあ状態である	やや不十分な状態である	不十分な状態である	重要である	まあ重要である	あまり重要ではない	重要ではない	
追加記入欄	(ノ)	直接お書きください。	1	2	3	4	1	2	3	4
	(ハ)	直接お書きください。	1	2	3	4	1	2	3	4
	(ヒ)	直接お書きください。	1	2	3	4	1	2	3	4
	(フ)	直接お書きください。	1	2	3	4	1	2	3	4

問6 少子高齢化が進み、社会保障関係に必要な経費が年々増えており、それ以外に活用できる経費は、限られてきています。

今後の松戸市の都市基盤について、限られた財源の中で、どのようなところに重点的に投資すべきだと思いますか。(○は1つだけ)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校、市民センター、図書館等の公共施設の耐震などを含めたメンテナンス</li> <li>2. 新たな公共施設の建設 (例：生涯学習会館、音楽ホールなど)</li> <li>3. 日常、通勤・通学・買い物などに行くときに利用する生活道路の整備</li> <li>4. 車でスムーズに移動するための幹線道路の整備</li> <li>5. 水と親しめる河川環境の整備や、街路樹や公園などの整備</li> <li>6. 既存の樹林地など緑地の保全</li> <li>7. その他 ( )</li> </ol> |
|--|

問7 子どもを取り巻く環境が複雑化、多様化している現在、子どもの教育は、学校・家庭・地域が、それぞれ適切な役割分担を果たしつつ、相互に連携して行われることが重要であると言われていています。子どもの成長に必要と思われる項目を次のように整理しました。

全ての項目について、学校・家庭・地域のそれぞれが一定の役割を担うものとは思いますが、あなたは、それぞれの選択項目について、学校・家庭・地域のうち**最も重要な役割**を担うべき主体は、どこだとお考えですか。

項目ごとに、あなたのお考えに一番近い番号を「1～3」の中から、それぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。

選 択 項 目		学校が 主に担うべき	家庭が 主に担うべき	地域が 主に担うべき
(ア)	基礎基本（読み、書き、計算など）の定着を始めたとした確かな学力を身につけること	1	2	3
(イ)	集団生活を営むために必要なルールを身につけること	1	2	3
(ウ)	生涯にわたって自分で学んでいくために必要な学習の仕方や意欲を身につけること	1	2	3
(エ)	自らの心身の健康を育むための知識や方法を身につけること	1	2	3
(オ)	生活習慣や善悪の判断など規範意識の基盤をつくること	1	2	3
(カ)	社会生活を営み、人との交流を広げるために必要な態度やコミュニケーション能力を身につけること	1	2	3
(キ)	放課後や休日に、子どもたちが安心して活動できる安全な居場所を見つけること	1	2	3
(ク)	通常の教育カリキュラムの他に、様々な年齢や性別、国籍の人などと多様な体験をすること	1	2	3

最後に、皆様ご自身のことについて、おたずねします。

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- |        |        |
|--------|--------|
| 1. 女 性 | 2. 男 性 |
|--------|--------|

F 2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

- |           |           |            |           |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 1. 20～24歳 | 5. 40～44歳 | 9. 60～64歳  | 13. 80歳以上 |
| 2. 25～29歳 | 6. 45～49歳 | 10. 65～69歳 |           |
| 3. 30～34歳 | 7. 50～54歳 | 11. 70～74歳 |           |
| 4. 35～39歳 | 8. 55～59歳 | 12. 75～79歳 |           |

F 3 あなたの主な職業をお答えください。(○は1つだけ)

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| 1. 会社員                | 7. 専業主婦 |
| 2. 公務員 (教員、団体職員などを含む) | 8. 無 職  |
| 3. 自営業 (農業を含む)        |         |
| 4. アルバイトやパートなどの臨時雇用   |         |
| 5. 学 生                |         |
| 6. その他 ( )            |         |

(F 3で1～6のいずれかをお答えの方に)

F 3-1 あなたの勤務地または通学地をお答えください。(○は1つだけ)

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. 自宅            | 4. 東京都内    |
| 2. 松戸市内 (自宅を除く)  | 5. 埼玉県・茨城県 |
| 3. 千葉県内 (松戸市を除く) | 6. その他 ( ) |

F 4 松戸市にお住まいになって通算何年になりますか (○は1つだけ)

- |                       |
|-----------------------|
| 1. 生まれてからずっと松戸市に住んでいる |
|-----------------------|

他市町村に住んだことがある場合は、松戸市での通算居住年数を以下からお選び下さい。

- |             |               |               |
|-------------|---------------|---------------|
| 2. 1年未満     | 4. 5年以上10年未満  | 6. 15年以上20年未満 |
| 3. 1年以上5年未満 | 5. 10年以上15年未満 | 7. 20年以上      |



F 5 あなたの家族構成をお答えください。(○は1つだけ)

1. ひとり世帯	4. 三世帯世帯 (親と子と孫)
2. 夫婦のみの世帯	5. その他
3. 二世帯世帯 (親と子)	( )

F 6 同居家族のなかに中学生以下の子どもは何人いますか。(○は1つだけ)

1. いない	2. 1 人	3. 2 人	4. 3 人	5. 4人以上
--------	--------	--------	--------	---------

F 7 同居家族のなかに (自身を含む) 65歳以上の方はいますか。(○は1つだけ)

1. いない	2. いる
--------	-------

F 8 あなたが通勤・通学以外で日常的にお出かけになる範囲について、お答えください。  
(○は1つだけ)

1. 隣近所	4. 松戸市内程度	7. その他
2. 町会程度	5. 千葉県内	( )
3. 近隣町会程度	6. 東京都内	

F 9 あなたの通勤・通学を含め、お出かけのときに利用する主な交通手段は何ですか。  
(○は2つまで)

1. 電車	4. 自家用車	7. 徒歩
2. バス	5. オートバイ・スクーター	8. その他
3. タクシー	6. 自転車	( )

F 10 あなたは、松戸市の地域の情報を主に何によって入手していますか。(○は2つまで)

1. テレビ・ラジオ	6. 市が主催する説明会など
2. 新聞・雑誌・ミニコミ誌	7. 町会などでの集会や会合
3. 広報誌 (広報まつど)	8. 近所の人や親戚の人との会話
4. ホームページ	9. その他 ( )
5. 回覧板など各種パンフレット	10. 特にない

F 11 あなたにとって、松戸市は住みやすいですか。(○は1つだけ)

1. 大変住みやすい	3. どちらからかといえば、住みにくい
2. どちらからかといえば、住みやすい	4. 大変住みにくい

F12 あなたは、今後も松戸市にお住みになりたいですか。(○は1つだけ)

1. 今の場所に住み続けたい
2. 松戸市内の別の場所で住み続けたい
3. 松戸市内に住み続けたいが、市外に移る予定である
4. 市外に移りたい、または移る予定である
5. わからない

(F12で「1. 今の場所に住み続けたい」とお答えの方に)

F12-1 今の場所に住み続けたい理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 親の代から住んでいるまちだから
2. 隣近所との付き合いを失いたくないから
3. 通勤や通学に便利だから
4. 自然災害の心配が少ないから
5. 下水道や道路などの基盤が整備されているから
6. 緑が多く、静かな住環境に満足しているから
7. 医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足しているから
8. 子育てや教育などの環境が充実しているから
9. 子どもの学校が変わることが困るから
10. 治安や防犯の心配が少ないから
11. 買い物や娯楽に便利なまちだから
12. 東京に近いから
13. 商売や事業を続けているため
14. 家賃などが安いから
15. 経済的な理由など、仕方ないから
16. その他 ( )

(F12で2～4のいずれかをお答えの方に)

F12-2 別の場所に移りたい、または移る予定の理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 住宅や土地の価格・広さに満足できないから
2. 通勤や通学に不便だから
3. 自然災害への備え(防災)が心配だから
4. 下水道や道路などの基盤整備が遅れているから
5. 騒音などの生活環境に満足できないから
6. 医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足できないから
7. 子育てや教育などの環境に満足できないから
8. 近所付き合いなどがわずらわしいから
9. 治安や防犯などが心配だから
10. 買い物や娯楽を楽しめる環境ではないから
11. もっと自然の多い土地で暮らしたいから
12. 商売や事業を行いやすい環境ではないから
13. もっと家賃や土地の価格が安いところで暮らしたいから
14. 仕事、学校、家族の都合でやむをえない理由があるから
15. その他 ( )

◎松戸市に対するご意見・ご要望など、特にありましたら、ご自由に記載してください。


**ご協力ありがとうございました。**

\* 記入済みの調査票は、同封の封筒に入れ、8月21日（月）までに、投函してください。